

(仮称)京急蒲田駅大田区観光情報センター実施設計

新規

予算額 994万円

ねらい

京急蒲田駅構内に、観光相談、展示・販売、日本文化体験などの機能を備えた、来訪者と「まち・ひと」をつなぐ観光拠点として観光情報センターを設置して、旅行者の満足度向上及び区内への回遊を促進します。



羽田空港国際線ターミナル内  
観光情報コーナー

<p><b>事業概要</b></p>	<p>羽田空港の国際線の増便、2020年の東京オリンピック・パラリンピックなど、今後東京へのさらなる旅行客の増加が見込まれています。大田区では、蒲田が外客受入整備の戦略拠点認定されたのを契機として、受入環境の整備を進めてきたところです。空港利用者や区内宿泊者など、より多くの方に大田区を回遊してもらうために、様々なニーズに対応する観光拠点が必要と考えています。</p> <p>京浜急行電鉄㈱が建設する京急蒲田駅直結の「(仮称)京急蒲田駅商業施設」の中に、観光相談、展示・販売、日本文化体験などの機能を備えた、旅行者の満足度向上及び区内への回遊に資する観光情報センターの設置を予定しています。</p> <p>当事業では、図面作成等の詳細設計を行います。なお、観光情報センターは、京急蒲田駅商業ビルの完成時期に合わせて、平成27年12月のオープンを予定しています。</p>												
<p><b>問合せ先</b></p>	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="3">観光・国際都市部 観光課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>青木 毅</td> <td>電話</td> <td>5744-1321</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>綱島 陽子</td> <td>電話</td> <td>5744-1322</td> </tr> </table>	担当課	観光・国際都市部 観光課			課長氏名	青木 毅	電話	5744-1321	担当者氏名	綱島 陽子	電話	5744-1322
担当課	観光・国際都市部 観光課												
課長氏名	青木 毅	電話	5744-1321										
担当者氏名	綱島 陽子	電話	5744-1322										

公衆無線LAN（Wi-Fi環境）整備の推進

新規

予算額 2,553万円

ねらい

2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会を見据え、これからますます増加する外国人観光客に対して、観光等情報発信のための公衆無線LAN環境を無料で提供します。



イメージ

<p><b>事業概要</b></p>	<p>区内の主要駅（大森駅、蒲田駅、京急蒲田駅）周辺、区の観光スポットに近い区施設内（約20か所）に、公衆無線LAN機器を設置し、特に外国人観光客を対象として、誰でも、無料で、インターネットから情報を得られる環境を整備します。あわせて、大田区の観光情報等の発信を行い、来訪者へのサービス向上を図ります。また、災害発生時には、近隣の住民、来訪者、帰宅困難者へ、災害情報を発信し、利用者の安全、安心を支援します。</p>												
<p><b>問合せ先</b></p>	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="3">観光・国際都市部 観光課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>青木 毅</td> <td>電話</td> <td>5744-1321</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>佐川 博</td> <td>電話</td> <td>5744-1322</td> </tr> </table>	担当課	観光・国際都市部 観光課			課長氏名	青木 毅	電話	5744-1321	担当者氏名	佐川 博	電話	5744-1322
担当課	観光・国際都市部 観光課												
課長氏名	青木 毅	電話	5744-1321										
担当者氏名	佐川 博	電話	5744-1322										

## 国際都市事業の推進

予算額 586万円

### ねらい

おおた未来プラン「未来へ躍動する国際都市 おおた」をめざして、「国際都市おおた」推進事業をバージョンアップし、大田区の魅力と存在感を国内外に強力に発信していきます。



平成26年度の  
来～る大田区大使

<b>事業概要</b>	<p>1 (仮称)「国際都市おおた大使」(来～る大田区大使)事業の実施 <span style="float: right;">168万円</span></p> <p>区では平成21年度から平成26年度まで、区内在住等外国人15か国・地域、56名を大田区観光大使(愛称:来～る大田区大使)として任命し、任命された大使は区の魅力を国内外に情報発信して、「国際都市おおた」の魅力と認知度向上に多大な貢献を果たしてきました。</p> <p>現在の大使は主に観光PRを目的に活動していますが、東京オリンピック・パラリンピック開催等によりさらなるグローバル化が進展する中、区として大使の活躍する範囲を大幅に広げ、「国際都市おおた」の推進力・発信力を強化します。具体的には、現大使が担っている観光分野に加え、国際交流、文化、産業、教育分野でも活躍できる外国人を新たに「国際都市おおた大使」として任命します。愛称の「来～る大田区大使」は大変親しまれているので、そのまま継続して使用します。新大使の活躍により、地域でのおもてなしの気運を高め、国際都市にふさわしい、誰もが訪れやすく住みやすいまちづくりを進めます。</p>
	<p>2 「国際都市おおた」推進に関する区民・有識者会議 <span style="float: right;">418万円</span></p> <p>おおた未来プランに基づき展開してきた国際都市施策を、区民にとってよりわかりやすい、区の実情に合った「国際都市像」として示すことで、さらに「国際都市おおた」をオール大田で推進できると考え、昨年9月、『「国際都市おおた」推進に関する区民・有識者会議』を新たに設置しました。現在、有識者や各分野の委員が、</p>

<b>事業概要</b>	<p>大田区にふさわしい「国際都市像」について討議しています。2年目となる27年度は、この会議の運営に専門機関の調査研究手法を導入するとともに、委員以外にも国際都市政策に精通した関係者を招聘することで、さらなる会議の充実を図ります。この会議では、将来(仮称)「国際都市宣言」を実施することも見据え、宣言の内容や実施時期等についても論議する予定です。同会議を通じて、「国際都市おおた」実現に向け、区民間での外国人迎え入れのおもてなし気運を高めます。</p>
<b>問合せ先</b>	<p>担当課 観光・国際都市部 国際都市・多文化共生推進課</p>
	<p>課長氏名 飯嶋 清市 電話 5744-1719</p>
	<p>担当者氏名 藤倉 幸子 電話 5744-1227</p>

## 訪日外国人旅行者受入環境整備事業

### — 研修会・多言語ホームページの作成等 —

予算額 1, 8 2 3 万円

#### ねらい

大田区を訪れる外国人に対して、大田の魅力を発信し、おもてなしの質の向上を図るため、協力店舗への研修会や、多言語のホームページを作成します。



おもてなし研修会  
の様子

<b>事業概要</b>	<p><b>1 登録店舗への研修会の実施</b></p> <p>訪日外国人旅行者受入環境整備事業の一つとして、「ウェルカムショップ制度」・「まちかど観光案内所制度」を創設しました。現在、それぞれ141、146か所の協力店舗が登録されています。</p> <p>これらの登録店舗において、訪日外国人旅行者への「おもてなし」の向上を図るため、「食文化」（ムスリム対応など）の理解を深め、簡単な英語等の対応ができるように、研修会を実施します。</p>
	<p><b>2 外国人向け多言語のホームページ作成</b></p> <p>外国人に大田区の魅力を知っていただき、情報収集の窓口としてもらうために、多言語のホームページを作成します。</p>
<b>問合せ先</b>	<p>担当課 観光・国際都市部 観光課</p>
	<p>課長氏名 青木 毅 電話 5 7 4 4 - 1 3 2 1</p>
	<p>担当者氏名 綱島 陽子 電話 5 7 4 4 - 1 3 2 2</p>

## 鳳凰閣（旧清明文庫）・（仮称）勝海舟記念館の整備等

予算額 4,075万円

### ねらい

国登録有形文化財建造物である鳳凰閣（旧清明文庫）について、文化財建造物を有効活用し、勝海舟を顕彰する記念館として整備していきます。



鳳凰閣外観

事業概要	<p>文化財である鳳凰閣（旧清明文庫）を活用して、勝海舟を顕彰する記念館として整備していきます。平成 27 年度は建築及び展示に関する基本設計・実施設計を行います。また、地域の歴史・文化などの情報発信や観光資源としても活用していきます。</p> <p>※鳳凰閣（旧清明文庫）は、関東大震災の復興期に勝海舟の精神を基本に置きながら、図書収集閲覧、学習、人材育成としての講義開催などを行う場として財団法人清明会が設置したものです。当時の教育施設に多用されたネオゴシック様式などを基調としたもので、昭和初期の時代を表す歴史的建造物です。</p>
	<p>担当課 教育総務部 大田図書館</p> <p>課長氏名 北村 操 電話 3758-3471</p> <p>担当者氏名 五ノ井 巖暢 電話 3758-3471</p>
問合せ先	



## 「文化の香る坂道のまち 馬込まち歩き講座」の開催と

### 「馬込ふるさとめぐりマップ」の作成

新規

予算額 175万円

#### ねらい

かつて多くの文士・芸術家たちが暮らし、執筆活動をした馬込は、郷土文化や史跡などが、現在も多く残されている「文化の香る坂道のまち」です。

馬込に暮らす人々が、豊富な地域資源を再認識することで、地域により一層の愛着と誇りを持ち、また、区民が主体的にまちの魅力を力強く発信して地域をさらに活性化させていくことをめざします。



かつての新馬込橋



馬込の坂道

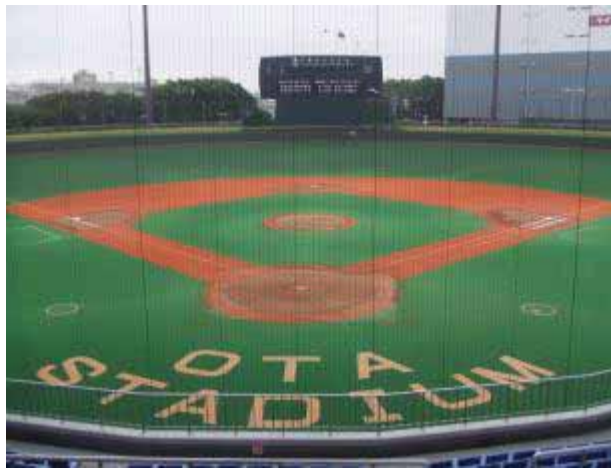
事業概要	<p>1 「文化の香る坂道のまち 馬込まち歩き講座の開催」 60万円</p> <p>馬込の豊富な地域資源を再発見するため、区民参加型の講座を開催します。</p> <p>参加者には、郷土文化や史跡を巡りながら、個々に馬込らしい風景や、公園・店舗などの「発見者」役も担っていただきます。まち歩きで気づいたことや発見を発表し、講師と一緒に楽しく親しみやすい5つの散策ルートを設定します。</p> <p>対象者・・・区内在住・在勤・在学の方 ※小学生は保護者同伴。</p> <p>講座時期・・・6月から開催予定（全6回）</p>
	<p>2 「馬込ふるさとめぐりマップ」の作成 115万円</p> <p>「馬込に暮らす人も散策したくなるマップ」をテーマに、上記講座で設定したルートで散策マップを作成します。</p> <p>優しい色合いのマップには、馬込の文士たちや史跡を写真やイラストで分かりやすく紹介します。また、5つの散策ルートそれぞれに、まち歩き講座に参加された方のコメントを取り入れた構成とします。馬込の魅力が一目でわかるマップです。</p> <p>※A2変形版両面フルカラー（日本語） 10,000部</p>
問合せ先	<p>担当課 地域力推進部 馬込特別出張所</p>
	<p>課長氏名 石川 里香 電話 3774-3301</p>
	<p>担当者氏名 武本 将夫 電話 3774-3301</p>

## 大田スタジアム施設改修工事 基本構想・基本設計

予算額 960万円

### ねらい

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会の開催決定を踏まえ、老朽化した施設の大規模な改修や障がい者・外国人観光客等も含めたユニバーサルデザインの視点を盛り込んだ改修を行い、オリンピック・パラリンピックでの競技会場や練習会場、イベント開催など施設の有効活用をめざします。



大田スタジアム

<b>事業概要</b>	<p>平成23年度に策定された長期修繕計画を基に、屋上防水や外壁改修などの維持更新及び施設のレベルアップとして移動円滑化経路の確保やサイン掲示など、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会開催を見据えた施設全体の改修計画を策定します。</p> <p>○実施予定スケジュール</p> <p>平成27～28年度 大田スタジアム施設改修基本構想・基本設計委託 (平成27年度 960万円)</p>
<b>問合せ先</b>	<p>担当課 都市基盤整備部 建設工事課・都市基盤管理課</p>
	<p>課長氏名</p> <p>建設工事課 遠藤 彰 電話 6428-6281</p> <p>都市基盤管理課 杉村 克之 電話 5744-1306</p>
	<p>担当者氏名</p> <p>建設工事課 瀬戸 程行 電話 6428-6286</p> <p>都市基盤管理課 鈴木 隆広 電話 5744-1319</p>



大田区における東京オリンピック・パラリンピック開催気運醸成

新規

予算額 1,795万円

ねらい

区は、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、「スポーツ健康都市」「国際都市おおた」の取組みを積極的に推進していきます。区民の意識醸成を図り、大会成功に協力するためにPR活動を実施します。



大田区総合体育館



イベントでのPR

<b>事業概要</b>	<p><b>1 区主催イベントへのオリンピック等出演、(仮称)オリンピック会議の開催</b> <span style="float: right;"><b>728万円</b></span></p> <p>オリンピック(オリンピック出場選手)、パラリンピアン(パラリンピック出場選手)を招き、区主催イベント等においてトークショーや実演等を行い、スポーツを通じた健康増進などの意義を訴えます。また、大田区にゆかりのあるオリンピックなどをメンバーとする(仮称)オリンピック会議を開催し、豊かな経験から区の取組みへ助言をいただきます。</p>
	<p><b>2 アスリート派遣</b> <span style="float: right;"><b>648万円</b></span></p> <p>総合型地域スポーツクラブや学校等へ指導力のあるアスリートを派遣し、区民の方々、児童・生徒にスポーツの魅力を体感していただきます。また、地域のイベント等にも実技指導やデモンストレーションを行うアスリートを派遣し、スポーツのすばらしさを体感する機会を提供します。</p>
	<p><b>3 PR用物品の製作・購入等</b> <span style="float: right;"><b>419万円</b></span></p> <p>区主催イベントにおいて、オリンピック・パラリンピックを身近に感じることでできる展示などを行い、大会に向けた気運を盛り上げながらイベントの支援を行います。</p>
<b>問合せ先</b>	<p>担当課 <b>区長政策室 政策課(東京オリンピック・パラリンピック推進担当)</b></p>
	<p>課長氏名 <b>小貫 勝</b> <span style="float: right;">電話 <b>5744-1160</b></span></p>
	<p>担当者氏名 <b>石川 大輔</b> <span style="float: right;">電話 <b>5744-1189</b></span></p>

## 国際交流員の配置

新規

予算額 367万円

### ねらい

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、英語を母国語とし、日本語に堪能な外国人を非常勤職員として区役所に配置することにより、「国際都市おおた」にふさわしい多彩な国際交流・多文化共生事業を展開します。



国際交流員のイメージ

### 事業概要

一般財団法人「自治体国際化協会」が主管するJETプログラムにより選抜された、日本に関心のある海外の優秀な青年を※「国際交流員(CIR)」として雇用します。現在、国際交流員を配置している自治体は東京都にはありません。2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、羽田空港に降り立つ訪日外国人は激増しており、在日外国人も増加しているため、同空港を抱える当区ならではの役割をこの国際交流員に担ってもらう予定です。

具体的には、区内で行われるさまざまな国際交流イベントの企画・立案を行ってまいります。国際交流員が、外国人の視点と感性で企画・立案を行うことで、外国人区民にとって魅力があり、日本人区民にとっては新鮮な国際交流イベントの実施が可能となり、外国人区民と日本人区民とのより一層の交流促進が期待できます。

また、外国人向け情報紙の編集・製作も行ってもらいます。区は現在、外国人向け多言語情報紙を年10回発行していますが、国際交流員がこの情報紙の編集・製作に加わることで、外国人ならではの視点やデザインを取り入れ、読者である外国人区民にとってより魅力ある情報紙としていきます。

	<p>さらに、庁内における通訳・翻訳業務や職員の語学力向上研修、海外姉妹都市との交流事業、諸外国からの区への訪問団対応、区内観光資源の海外への情報発信によるインバウンド誘致などを行ってもらい、庁内・庁外の国際化にも最大限活用していきます。</p> <p>※国際交流員（CIR=Coordinator for International Relations）とは、一般財団法人「自治体国際化協会」が実施する外国青年招致事業（JETプログラム）により地域の国際交流活動のため自治体等に配属される外国青年のことです。</p>
<b>問合せ先</b>	<p>担当課      観光・国際都市部    国際都市・多文化共生推進課</p>
	<p>課長氏名    飯嶋 清市                      電話    5 7 4 4 - 1 7 1 9</p>
	<p>担当者氏名   松尾 寛之                      電話    5 7 4 4 - 1 2 2 7</p>

## タブレット端末を介した通訳サービス

新規

予算額 26万円

### ねらい

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、区役所の窓口にも日本語を母語としない方の来訪が増えることが予想されます。来庁する外国人への窓口サービス拡充のため、タブレット端末を介した5か国語通訳サービスを区役所本庁舎に導入します。



外国人に対応する窓口のイメージ

<b>事業概要</b>	<p>現在大田区多文化共生推進センターで行っている多言語による総合相談や通訳派遣は、開庁時のみの対応です。</p> <p>2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、今後ますます外国人来庁者の増加が予想されるため、タブレット端末を介した5か国語通訳サービスを導入し、外国人への窓口サービスの拡充を図ります。導入する通訳サービスはタブレット端末のカメラとマイクを使用し、通訳者と直接画面を通じて会話することができます。対応言語は英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語の5か国語です。導入するタブレット端末は2台で、1台を国際都市・多文化共生推進課窓口配置し、もう1台を各窓口へ貸し出しすることにより、機動的に対応できるようにします。この通訳サービスの導入により、区役所本庁舎の窓口を利用する外国人の利便性向上を図り、「国際都市おおた」のおもてなし力を高めます。</p>
	<p>担当課 観光・国際都市部 国際都市・多文化共生推進課</p>
<b>問合せ先</b>	<p>課長氏名 飯嶋 清市 電話 5744-1719</p>
	<p>担当者氏名 松尾 寛之 電話 5744-1227</p>

## 「川瀬巴水講座」の開催と

### 地域人材を活用した文化・地域講座の実施

予算額 65万円

#### ねらい

馬込区民センターの各講座に参加した地域住民が、世代を超えて会話やふれ合いを楽しめるよう、区は、様々な切り口から、地域文化や地域活動に資する知識・情報を積極的に発信し、地域に欠かせない地域拠点としての魅力をさらに高めます。



川瀬巴水  
「馬込の月」

事業概要	<p><b>1 「川瀬巴水講座」の開催</b> <span style="float: right;">25万円</span></p> <p>27年度は、巴水の陶板が設置された新馬込橋完成一周年を機に、区民センター自主事業による「川瀬巴水」講座を実施します。</p> <p>講座期間中は、管内文化施設と連携し、地域に暮らす人々の機運を高め、また馬込地区の歴史、文化への知識を深めます。</p> <p>対象者・・・区内在住・在勤・在学の方 ※小学生は保護者同伴。</p> <p>講座・・・記念講座を含め5回の開催を予定</p> <p>期間・・・6月から10月</p>
	<p><b>2 地域人材を活用した文化・地域講座の実施</b> <span style="float: right;">40万円</span></p> <p>地域で活躍する人材を積極的に講師として依頼し、講師も参加者も、ともにやりがいや生きがいを感じられる講座を提供します。</p> <p>対象者・・・区内在住・在勤・在学の方 ※小学生は保護者同伴。</p> <p>講座・・・フラダンス、太極拳など6回の開催を予定</p> <p>期間・・・4月から11月</p>
問合せ先	<p>担当課 <b>地域力推進部 馬込特別出張所</b></p>
	<p>課長氏名 <b>石川 里香</b>      電話 <b>3774-3301</b></p>
	<p>担当者氏名 <b>武本 将夫</b>      電話 <b>3774-3301</b></p>